

身延高校・山梨県立大学 高大連携授業

テーマ『峡南地域の未来を考える』

授業 現代社会研究（学校設定科目 2年 文化情報科目群）

※現代社会研究授業選択者は6名（男子3名、女子3名）

実施内容

実施日	授業の内容
第1回 9月24日（水）	「ガイダンス」
第2回 10月 8日（水）	「未来の私、未来の身延（峡南地域）」
第3回 10月15日（水）	「田舎のイトコ、どう生かすのか」
第4回 11月 5日（水）	「身延（峡南地域）がありのままの身延（峡南地域）であり続けるためには」
第5回 11月10日（月）	「世界と日本・山梨のつながりを考える」

※これらの授業を踏まえて、生徒には①張教授や二宮准教授の講義を通じて関心が得られた点、②講義から自分なりに得た理解の内容、③その理解を通じて身延町（峡南地域）にあてはめてみた場合、どんなことが考えられるか、といった観点からレポートを作成させた。また、11月19日（水）にはレポートの発表会を実施した。

講師 山梨県立大学 国際政策学部 張 兵 教授、二宮 浩輔 准教授

久保 友稀さん（大学生アシスタント）

山梨県立身延高等学校 地歴公民科 五味 哲矢

・グローバルな人材を育成！！

身延高校では、今年度山梨県立大学国際政策学部と選択授業「現代社会研究」の中で、2年次生6名を対象に地域活性化策を考える課題解決型の授業を上記の通り6回実施した。生まれ育った峡南というローカルな地域に暮らしながら、グローバル社会で活躍できる、**グローバル**（「グローバル」と「ローカル」を合わせた造語）な人材育成を目指すという目的のもと、ビデオ会議システムで授業を行った。（第1回の授業だけは、講師の先生に直接身延高校まで足を運んで頂いた）

授業の内容次第で、地域貢献だけではなく、就職や大学入試にも対応できる幅広い可能性が示された。来年度は、回数と授業時間が増え、より深く学ぶことができるハイレベルな授業に生まれ変わる予定である。

・受講者の声

〈Aさん〉

自分の住んでいる地域に対しての考え、イメージが変わった。もっと、自分の住んでいる地域のことを詳しく知りたいと思った。また、地域ならではの良い所を発見できた。

大学の先生や学生の方と交流することができて、大学の雰囲気などを感じることができて楽しかった。

〈Bさん〉

普段は考える事はない、自分の住んでいる地域を考えることができた。

また、地域のおかれている状況などを知ることができ、地域を活性化するためには、どうしていきべきか考える力がついた。これからの自分たちに必要な授業だと感じた。